

NIESSING



3組のアーティストとニーシングによる、プラチナをテーマにした作品の小展示
「プラチナ・アート - ニーシングと3人のアーティスト」展

中山英之 建築家/ 名和晃平 彫刻家/ 濱田英明 写真家

2015年12月16日(水) - 12月25日(金)まで、伊勢丹新宿店4F ジュエリー&ウォッチにて



ドイツのモダンジュエラー NIESSINGは、伊勢丹新宿店4Fにて、プラチナをテーマに、3人のアーティストの展示を開催いたします。

貴金属の中で最も希少と言われ、かつ耐久性にも優れるプラチナ。今では誰もが認めるプラチナの高い価値と魅力をいち早く見出したのが、ドイツのモダンジュエラーNIESSINGです。ニーシングは140年の長い歴史の中で培われた独自の冶金術と卓越したモダンデザインのかたでプラチナの素材としての可能性を様々に実現し、ジュエリーの世界に新たな地平を切り開いてきました。

本展は、ニーシングが3名の日本人アーティストと共に、プラチナのさらなる可能性を建築、写真、彫刻の3種の表現で展開するものです。日頃ジュエリーに接することの少ない多くの人々に、プラチナのほんとうの魅力と価値、プラチナ・ジュエリーを日常的に愛でる喜びや身につける楽しさを伝えます。

会場は伊勢丹新宿店本館4階のジュエリーウォッチ。ショーケースが各アーティストの展示空間としてジュエリーを輝かせる舞台になります。

また、今回は日本初上陸の「ザ・ニーシングリング アリス・イン・ワンダーランド」を特別展示。おとぎ話の「不思議の国のアリス」の世界はすべてのものがあべこべの世界……。この物語にインスピレーションをうけ、通常プラチナとダイヤモンドで作られているザ・ニーシングリングを、ダイヤモンドの部分を実質プラチナで、リングの部分を実質ロッククリスタルで作成いたしました。

そして、クリスマスギフトにもふさわしいプラチナのモード感覚あふれる新作ファッションジュエリーの数々もご用意しています。

ニーシングとプラチナジュエリーの現在と未来を同時に体験できる空間をお楽しみください。

展覧会タイトル：プラチナ・アート - ニーシングと3人のアーティスト

出展作家： 中山英之、名和晃平、濱田英明

会場： 伊勢丹新宿店4F ジュエリー&ウォッチ

東京都新宿区 新宿3-14-1 TEL：03-3352-1111

会期： 2015年12月16日(水) - 12月25日(金)

プレス内覧会： 12月16日(水) 10:00-10:30 参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

アーティストによるギャラリー・ツアー： 2015年12月19日(土) 13:00-14:00-

中山英之氏、濱田英明氏ご本人による作品解説をお楽しみください。

NIESSING (ニーシング) <http://niessing.jp>

1873年ドイツで創業したモダンジュエラー・ニーシング。造形学校「バウハウス」の流れを汲む作風は究極のシンプルを追求。地金の張力だけでダイヤモンドを支える代表作品「ザ・ニーシングリング」は、1979年に開発され特許を取得。無駄な装飾を一切削ぎ落とした独自のスタイル、卓越したクオリティと職人的技術により生み出されるジュエリーは、数々のデザイン賞を受賞しています。2001年には、芸術品としてドイツで法的に認定され盗作・贋作から保護されており、現在でも世界の美術館で、ザ・ニーシングリングが収蔵されています。

プレスに関するお問い合わせ HOW INC info@how-pr.co.jp Tel:03-5414-6405,Fax:03-5414-6406

読者お問い合わせ先(クレジット記載) 伊勢丹新宿店 住所：東京都新宿区 新宿3-14-1 TEL：03-3352-1111

参加アーティスト
中山英之 (なかやまひでゆき)



Photo : Takashi Kato

プロフィール

伊東豊雄建築設計事務所で「まつもと市民芸術館」「多摩美術大学図書館」等を担当後、独立。処女作「2004」でSD レビュー2004 鹿島賞と第23 回吉岡賞を立て続けに受賞して注目を集める。その後も「O 邸」(2009、)「Y ビル」(2009)、「Y 邸」(2012) など話題作を手がけ、現在も住宅を中心に数々のプロジェクトが進行中。著書に「中山英之ノスケッチング」(新宿書房) など。

展示タイトル : Mining

プラチナのジュエリーを「鉱物」として捉えることからインスタレーションがはじまります。3つのショーケースと2つのディスプレイにつらなる地形の上から大きな手が現れ、地中からニーシングの様々なジュエリーを「発掘」していくとともに、地形の上に建つ建築模型の内部や周囲に配されたリングがプラチナ・ジュエリーのスケールレスな魅力を表現します。



Photo : Takumi Ota

参加アーティスト
名和晃平 (なわこうへい)



Photo : Nobutada OMOTE | SANDWICH

プロフィール

1975年大阪府生まれ。彫刻家、京都造形芸術大学大学院教授。2003年京都市立芸術大学大学院美術研究科博士課程（後期）彫刻専攻修了。2011年、東京都現代美術館で個展「シンセシス」開催。2013年の瀬戸内国際芸術祭、あいちトリエンナーレなど、数々の国際展にてサイトスペシフィックな彫刻作品を発表する。同年、韓国チョナン市に大規模な屋外彫刻“Manifold”を設置。独自の「Cell」という概念を機軸にビーズ、プリズム、発泡ポリウレタン、シリコンオイルなど様々な素材とテクノロジーを駆使し、彫刻の新たな可能性を拓いている。現在、自身がディレクターを務めるクリエイティブ・プラットフォーム「SANDWICH」において、アート、建築、デザインなど多岐に渡る活動を行う。2015年9月には自身初となるイギリスでの個展「FORCE」をPACE LONDONにて開催。

展示タイトル：「CELL/FORCE」

ジュエリーにおける「モダン」を体現しているブランド、ニーシング。ハンドクラフトと最新技術の融合により生み出される革新的なジュエリーは、その抽象性と可変性によって人々の想像力を掻き立てます。名和氏のインスタレーションは、モダンジュエリーと彫刻との新たな融合を表現したものの。物質感のある多様な造形を舞台にジュエリーが展示されます。



参加アーティスト
濱田英明（はまだひであき）



プロフィール

写真家。1977年、兵庫県淡路島生まれ。大阪在住。2012年9月、35歳でデザイナーからフリーのフォトグラファーに転身。2012年12月、写真集『Haru and Mina』を台湾で出版。『KINFOLK』（アメリカ）、『FRAME』（オランダ）や『THE BIG ISSUE TAIWAN』（台湾）などの海外雑誌ほか、国内でも雑誌、広告など幅広く活動中。2014年10月写真集「ハルとミナ」（Libro Arte刊）を出版。Instagramのフォロワーが18万人を超えるなど、最も現代的で、最も注目される写真家の一人である。

展示タイトル：「Family of NIESSING」

ニーシングのジュエリーの魅力は、その研ぎすまされた技術と、ファクトリーで働く人たちの家族のような親密さから生まれます。家族をテーマとする作品で世界的に高く評価されている濱田氏がドイツのニーシング本社を訪れ、フレーデンの街や、ニーシングの工房、そこで働く人々を自由に撮影した写真をご覧ください。



Photo : Hideaki Hamada

NIESSING | ニーシング Platinum Jewelryのご案内

Crystallite [クリスタライト]

薄い金属のシートが手で折り込まれリングやピアスに。

クリスタライトは幾何学的美しさからインスピレーションを得て制作されました。



Topia [トピア]

トピアはラテン語で、“風景” という意味。

広大で美しい大自然からインスピレーションを得て制作されました。クリアですがすがしいプラチナのトピアは壮大な山脈を表現しています。



Colette Creoles [コレット ピアス]

シンプルでも遊び心のある、コレットシリーズからピアスが登場。

ニーシングのコレットが軽やかに動くピアスになりました。いつでも使えるシンプルなデザインなので、デイリーでオフィスで、特別なイベントで活躍します。ニーシング独自の精巧な留め金は、留めたり外したりするのがとても簡単です。コレットリングやプレスレットと合わせてコーディネートしてください。

